



Title	2017年度 意匠学会賞選考結果報告
Author(s)	面矢, 慎介
Citation	デザイン理論. 2018, 72, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/70560
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2017年度 意匠学会賞選考結果報告

2017年度学会賞選考委員会

委員長 面 矢 慎 介

受賞業績

吉田 雅子氏

『海のシルクロードの染織史』

受賞理由

吉田雅子氏の著書『海のシルクロードの染織史』は、2017年2月に中央公論美術出版から刊行された大著である。

本書は、大航海時代の16世紀から17世紀を中心に欧州勢力が開いた「海のシルクロード」を経由して日本に舶載された染織品を、技法・文様・史料の三つの側面から分析し、日本・中国・欧州間で交易された染織品の生産と流通の関係や文化的交渉を明らかにすることを目指し、桃山時代から江戸時代にかけて日本に入ってきた10点の染織品を対象として著者が長年行ってきた調査研究を総括した出版物である。研究対象となった染織品の多くは、先行研究ではヨーロッパ製品からの舶載品、あるいは中国製だが輸出用品ではないとされてきたのに対し、著者の吉田氏は、ヨーロッパからの発注を受けて中国で制作された輸出用品ではないかとして、日本に現存するこれらの染織品を現在欧米のコレクションに収蔵されている中国製の西洋への舶載品と比較するために、欧米諸国と中国の多数のミュージアム等で調査研究を続けてきた。本書における著者の一連の論証は極めて精密かつ説得力に富むものであり、今後この研究分野に大きな影響をもつものと考えられる。

推薦者の藤田治彦会員は「吉田雅子氏のように、日本と西洋、あるいは日本と東洋だけでなく、西洋でも東洋（中国）でも本格的な調査研究を行う研究者は非常に稀」であり、本書は「内外における本格的調査研究に基づき、東西の染織意匠とその世界的交流を扱った学術的価値の非常に高い出版物」であると評している。

この推薦を受けて、2017年度学会賞選考委員会は、複数の委員が著書を精査して検討を行った結果、意匠学会賞として顕彰するに値する著作であると判断した。この選考結果は2018年5月12日の第1回役員会に報告され承認を得た。